

教員公募

平成 29 年 9 月 20 日

1. 公募人員

北海道大学大学院水産科学研究院 海洋生物資源科学部門 海洋共生学分野 准教授または助教 1 名

2. 任期

准教授の場合、任期なし。助教の場合、5 年（ただし、審査のうえ 1 回（5 年）を限度として再任可）

3. 専門分野

海洋共生学：海洋水産資源の保全と持続可能な社会経済活動を調和させた地域共生社会実現のため、水産資源の持続的活用、国際海洋・水産政策等に関する教育・研究を行う

4. 資格条件

- (1) 博士の学位を有すること
- (2) 専門分野について優れた研究業績を有すること

5. 主要担当授業科目

大学院水産科学院：海洋共生学に関連する科目（特論、特別実験・演習など）

水産学部：海洋資源科学科、海洋生物科学科に関連する科目（講義、実験・演習・実習（乗船実習を含む）など）

総合教育部：水産科学に関連する全学教育科目

6. 採用予定時期：平成 30 年 4 月 1 日

7. 提出書類（各 1 部）

- (1) 履歴書（書式任意。ただし顔写真を貼付し、氏名、生年月日、現住所、連絡先、高等学校卒業からの学歴、職歴、学位名、学位取得機関、取得年月と学位論文題名、賞罰を記載すること）
なお、平成 25 年 4 月 1 日以降、本学に在職経験（特任教員、博士研究員、非常勤講師、短期支援員などのすべての職種。ただし学籍のあった期間中のものは除く）のある方は、当該履歴を漏れなく記載すること
- (2) 研究業績一覧：原著論文、シンポジウムプロシーディング、著書、総説、解説、その他に分けて記載すること（原著論文はレフリー制学術雑誌に掲載されたものと、非レフリー制雑誌に掲載されたものを分けて記載すること。受理済みまたは印刷中の原著論文については受理証明を添付すること。シンポジウムプロシーディングについては査読の有無を記すこと。コレスポンディングオーサーになっている共著論文すべてについて、論文番号の後に*を付すこと）
- (3) 主たる研究内容の解説（2,000 字程度）
- (4) 主要論文 5 編を選び、それらの論文の要点と学術的意義をアピールする文章
- (5) 教育業績一覧：たとえば、大学等における講義、実験・演習科目等の担当歴、大学院学生の研究指導歴、社会における教育普及活動実績などを記載すること
- (6) その他の業績一覧：大学、学会などにおける活動歴、フィールドワーク活動歴、各種研究費取得歴、特許など
- (7) 研究業績別刷集 1 部（コピー可）（研究業績一覧に記載したものについてはすべて提出すること）
- (8) 教育・研究に関する抱負（2000 字程度）

(9) 応募者について照会できる2名の氏名と連絡先(ただし、応募者は照会者に連絡等をとる必要はありません)

8. 提出期限：平成29年11月20日(月曜日)17:00必着

9. 応募書類の提出先

〒041-8611 北海道函館市港町3丁目1番1号

北海道大学大学院水産科学研究院海洋生物資源科学部門

海洋共生学分野教員選考委員会 委員長 笠井亮秀

*「教員公募(海洋共生学)」と朱書し、簡易書留で郵送あるいは持参すること。提出書類は本選考以外には使用しません。また、提出書類は返却しません

10. 本公募の照会先

海洋共生学分野教員選考委員会 委員長 笠井亮秀

電話 0138-40-8807 Eメール akihide@fish.hokudai.ac.jp

本研究院に関する詳細はホームページ <http://www2.fish.hokudai.ac.jp/>をご覧ください

11. その他

教員選考委員会から追加書類の提出を求める場合もあります。また、必要に応じて応募者の面接を行います(交通費は応募者の負担)。なお、採用の決定後に応募者の業績に応じて、准教授もしくは助教として採用します。当該分野は以下の教員から構成されており(平成29年9月20日現在)、本公募による採用者は原則として函館キャンパスに勤務することになります

教授：安井 肇，宮澤晴彦

准教授：工藤秀明，バウア・ジョン・リチャード

12. 参考

(1) 本公募では、海洋水産資源の保全と有効利用等による地域活性化・地域再生とそれを担う人材育成について、水産科学に加えて社会科学、地域経済学等の視点から、分野の他の教員とともに意欲的に取り組んでいける方、またフィールドワークにも積極的に取り組んでいける方を希望しています

(2) 就業条件については本学が定める就業規則に基づきます

(http://www.hokudai.ac.jp/jimuk/reiki/reiki_honbun/u010RG00000447.html)

(3) 本学は将来ビジョンとして「北海道大学創基150年に向けた近未来戦略」を掲げています

(<http://www.hokudai.ac.jp/introduction/information/150150.html>)

(4) 本学では、多様な人材による教育・研究活動の推進、男女共同参画推進に努めており、女性の積極的な応募を歓迎します。また、教育・研究活動と生活の両立支援、能力発揮・活躍環境整備に努めています。外国人等の応募も歓迎します

(5) 本公募に応募し助教として採用され、平成30年4月1日現在、博士号取得後10年以内で40歳未満の場合には、「次世代研究者育成プログラム」に応募可能です

(http://cofre.synfoster.hokudai.ac.jp/cgi-bin/index.pl?page=contents&view_category_lang=1&view_category=1017)